特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ（MIC かながわ）

２０１０年度事業報告書

1. 組織運営

(1) 理事会

理事会を下記の日程で開催し、運営方針について検討した。

2010年4 月 22 日(木)、5 月 14 日(金)、6 月 14 日(月)、7 月 26 日(月)、8 月 30 日(月)、9月27日(月)、11 月 2 日(火)、12 月 13 日(月)、2011年1 月 14 日(金)、2 月 14 日(月)

(2) 総会

MIC かながわ第 9 回定期総会　 5 月 22 日(土) 14：00～15:30　港湾労働者福祉センター

参加者数：正会員数 57 人のうち　出席27 人・委任状7 人・書面表決7 人

総会に引き続き行われた交流会では、医療通訳スタッフやコーディネーターを含む MIC 会員をはじめ、通訳派遣協定医療機関のソーシャルワーカーの参加も得て、顔の見える関係づくりに一役を担う有意義な時間を過ごした。

2. 事業の成果

2010年度は基金21 による助成 (2003年度～2007年度)、県負担金による協働事業 (2008年度) を経て 2009年度4 月より開始した県・市町村が参加しての「医療通訳派遣システム事業」の 2 年目となった。派遣実績は 2879件にのぼった。(前年度2547件)

このシステムでは、間接経費にあたるコーディネーター費用、新任通訳養成研修の費用等を県・市町村構成による協議会が負担し、事業の管理運営費や現任医療通訳の資質向上に関わる研修費用を MIC かながわが負担している。直接経費にあたる医療通訳スタッフ報償金（1件 3,000円/3時間）は原則医療機関の負担とし、医療機関から患者へ一部負担を求める場合の金額に一定の制限を設けた。また、運営協議会・部会において協議を進め、2011年度からは運営協議会を運営委員会と改め、費用負担の仕組みを変更することを決定した。最大の変更点は、医療機関も通訳派遣の利用実績に応じて直接経費以外の経費を一定負担し、行政、MIC かながわ、医療機関の 3者による負担金でコーディネーター費用・通訳研修費用等のシステムの根幹を担う間接経費を支えていくこととしたことである。

一方、県事業外で当法人から直接派遣する MIC かながわ医療通訳派遣事業についても、医療通訳派遣システム事業に準じる内容で派遣先の医療機関が原則費用を負担し、患者負担に制限を設けるシステムとしたが、医療通訳派遣実績は 1155件となり (前年度1146件)、両事業を合わせると協定医療機関への医療通訳派遣実績は　4034件にのぼった。(前年度3693件)

MIC かながわ医療通訳派遣事業においても、2011年度以降、医療通訳派遣システム事業の費用負担の仕組みに準じる内容で事業を実施することとした。

医療通訳の普及については、かながわ医療通訳啓発セミナー2011 を開催し、「公的な医療

通訳派遣の意義を考える」というテーマのもと、病院ソーシャルワーカー、支援団体、医療通訳、コーディネーターそれぞれの立場からの意見を発表した。その他、全国から講師派遣依頼等が多く寄せられ、医療通訳の社会的認知の高まりを感じた。

3. 事業内容

(1) 特定非営利活動に関わる事業

① 医療通訳の養成及び認定に関わる事業

[日時]2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日　　[場所]神奈川県内　　[従業員人員]250 人
[対象者]　現任医療通訳スタッフ・コーディネーター及び新任医療通訳研修参加者
【①事業合計支出額】　3,030,920 円

ア．医療通訳スタッフの募集

『県のたより』に掲載し、9言語（中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・英語・タイ語・ベトナム語・カンボジア語・ラオス語）の募集を行った。9言語148 人の応募に対して事前選考後に研修を行い、最終的に 31 人（中国 6、スペイン 5、ポルトガル 3、タガログ 6、タイ 2、英語 5、ベトナム 2、カンボジア 1、ラオス 1）が選考を通過した。

イ．医療通訳スタッフの登録

平成2009年度から引き続いての登録者156 人、2010年度の新規登録者31 人、計187 人（うち 2 人は 2言語登録者）が登録した。

ウ．医療通訳スタッフ新任者養成研修

応募者多数のスペイン語・英語・中国語に関しては 8月下旬に事前選考が行われた。

【第 1 回】9 月 11 日（土）　大和保健福祉事務所

ｉ．医療通訳の心得
講師：港町診療所　医師　　沢田　貴志 氏

ⅱ．基礎的な通訳技術
講師：ＭＩＣかながわ英語医療通訳スタッフ　　森田　直美 氏

ⅲ．在留資格について
講師：行政書士　　長谷川　祥子 氏

ⅳ．多文化共生について
講師：川崎市ふれあい館　　金　迅野氏

【第 2 回】9 月 25 日（土）　大和保健福祉事務所

ｉ．医療通訳派遣システムについて

ⅱ．医療知識基礎
講師：ソレイユ川崎　医師　　江川　文誠氏

ⅲ．医療制度の基礎・医療機関のしくみ
講師：国際親善総合病院　医療ソーシャルワーカー　井出　みはる氏
ⅳ．外国人医療の現状
講師：港町診療所　早川　寛氏
ⅴ．医療通訳の現場から
講師：ベトナム語医療通訳スタッフ　飯田　まどか氏
ポルトガル語医療通訳スタッフ　佐藤　リリア　信子氏
スペイン語医療通訳スタッフ　中田　公明氏

【第3回】10月2日(土)シミュレーション/言語別ロールプレイ
ベトナム語・カンボジア語・ラオス語については大和保健福祉事務所
その他の言語に関しては、横浜駅周辺施設（かながわ県民センター・神奈川労働相談ネットワーク・港湾労働者福祉センター）

【第4回】10月9日(土)シミュレーション/言語別ロールプレイ
ベトナム語・カンボジア語・ラオス語については大和保健福祉事務所
その他の言語に関しては、横浜駅周辺施設（かながわ県民センター・神奈川労働相談ネットワーク・港湾労働者福祉センター）

【オリエンテーション】10月28日（月）かながわ県民センター　※最終選考通過者対象

ⅰ．システムの概要　ⅱ．派遣の手続き　ⅲ．協定医療機関の概要
ⅲ．コーディネーター業務の紹介　ⅴ．コーディネーターとの意見交換

エ．医療通訳スタッフ現任者研修
現任医療通訳スタッフの資質向上のため課題検討と専門的内容の講義等の研修を行った。
【第1回】7月 10日（土）13:00～17:00　かながわ県民センター
ⅰ．講義：「外国籍住民が使える医療制度　～生活保護に関わるものを中心に～」
講師：NGO神戸外国人救援ネット運営委員　嘴本 郁 氏
ⅱ．講義：「産科医療に関わる諸制度について」
講師：聖マリアンナ医科大学病院　主査ソーシャルワーカー社会福祉士
坪田由紀子 氏
〔参加者数〕101人
【第2回】11月13日（土）13：00～16：50　神奈川韓国会館ソリマダン　ホール
ⅰ．講義：「脳疾患について　～皆様の質問にお答えします～」
講師：済生会横浜市東部病院　神経内科　医師　久手堅 司　氏
ⅱ．言語混合グループディスカッション：「体験共有」
〔参加者数〕102人

【第３回】３月５日（土）13：30～16：45　横浜市従会館

ⅰ．講演：「監察医の40年」

講師：横浜市立大学医学部名誉教授・ぱしふぃっくびいなす号船医・監察医

西丸 與一 氏

ⅱ．講義：「感染症」

講師：MICかながわ理事・港町診療所所長・医師　沢田 貴志 氏

〔参加者数〕112人

オ．勉強会

日常的な資質向上のため言語別グループによる自主勉強会を開催。

全言語共通 病理学3回、中国語5回、スペイン語10回、ポルトガル語5回、英語6回、タイ語4回、ベトナム語４回

カ．コーディネーター研修

【第１回】６月28日（月）16：40～18：30　神奈川労働相談ネットワーク

内容：コーディネーターマニュアル改訂版に基づいたコーディネーター業務の再確認

〔参加者数〕11人

【第２回】11月11日（木）17：00～19：00　かながわ県民センター

内容：結核に関する通訳派遣コーディネートの留意点

講師：MICかながわ理事・港町診療所所長　沢田 貴志 氏（医師）

〔参加者数〕11人

② 医療通訳の派遣に関わる事業

【②事業合計支出額】19,798,945円

＜内容１＞ 医療通訳派遣システム事業

［日時］2010年４月１日～2011年３月31日　［場所］神奈川県内　［従業員人員］220人

［対象者］医療通訳を必要とする協定医療機関 17病院およびそこに受診する患者とその家族等

ア．医療通訳スタッフの派遣

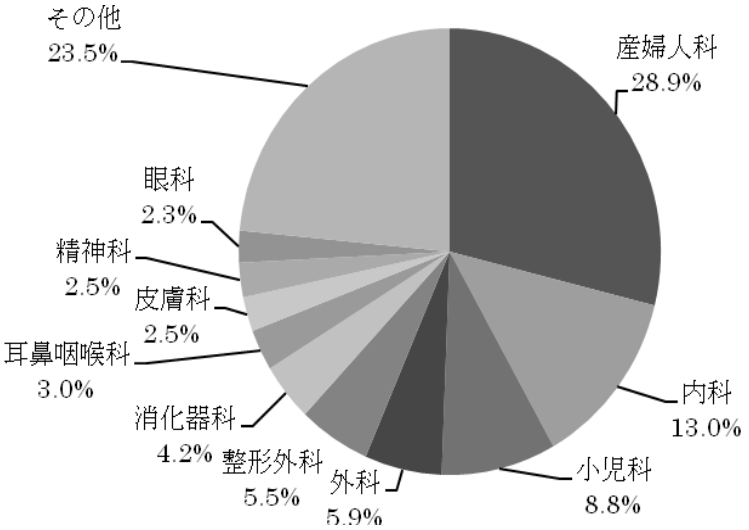
協定医療機関（17病院）からの通訳派遣の依頼にもとづき、コーディネーターが医療通訳スタッフを派遣した。

病院・言語別実績

【単位：件】

医療機関名＼言語	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	合計
済生会神奈川県病院	横浜市神奈川区	4	4	0	0	5	0	0	0	0	0	13
済生会横浜市東部病院	横浜市鶴見区	35	133	115	0	12	0	80	19	0	0	394
横浜市民病院	横浜市保土ヶ谷区	66	13	0	0	5	20	51	0	0	0	155
社会保険横浜中央病院	横浜市中区	11	1	0	0	0	0	1	0	0	0	13
横浜市大センター病院	横浜市南区	243	43	45	0	24	22	105	16	0	4	502
県立循環器呼吸器病センター	横浜市金沢区	37	6	0	0	2	0	1	1	0	0	47
県立こども医療センター	横浜市南区	31	35	20	0	13	2	51	1	4	1	158
聖マリアンナ医科大学病院	川崎市宮前区	33	19	22	0	25	0	28	0	0	0	127
太田総合病院	川崎市川崎区	13	69	13	0	0	1	40	2	0	0	138
川崎市立川崎病院	川崎市川崎区	35	70	44	2	2	18	140	0	0	0	311
総合病院衣笠病院	横須賀市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茅ヶ崎徳洲会総合病院	茅ヶ崎市	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20
東海大学医学部付属病院	伊勢原市	34	333	153	0	3	0	16	1	33	0	573
海老名総合病院	海老名市	0	104	37	0	3	14	24	12	0	1	195
厚木市立病院	厚木市	0	35	6	0	0	0	0	0	0	0	41
北里大学病院	相模原市	1	138	14	0	2	12	7	0	0	0	174
県立足柄上病院	足柄上郡松田町	0	16	2	0	0	0	0	0	0	0	18
合　計		543	1039	471	2	96	89	544	52	37	6	2879

【診療科別実績】



イ．　コーディネート業務

（ア）　かながわ県民センター２階「県民の声・相談室」第３ブースにて 14 人のコーディネーターが当番制で月～金曜日、9時～12時／13時～16時、コーディネート業務に就いた。

（イ）　コーディネーター会議を、2010 年 4 月 19 日(月)、5 月 17 日(月)、6 月 14 日(月)、7 月 20 日(火)、8 月 24 日(火)、9 月 28 日(火)、10 月 25 日(月)、11 月 30 日(火)、12 月 21 日(月)、2011 年 1 月 17 日(月)、2 月 21 日(月)、3 月 22 日(火)に開催し、通訳派遣に関しての連絡、課題検討を行った。また、現任医療通訳・コーディネーター研修への協力を行った。

（ウ）　協定医療機関（17病院）の医療通訳窓口担当者との連絡会を、6 月 22 日(火) かながわ県民センター会議室にて開催し、病院・コーディネーター間のより円滑な業務につなげるべく顔合わせを行った。

〔参加者数〕29 人（病院13 人、コーディネーター13 人、事務局・役員3 人）

（エ）事故対応ミーティングを 8 月 5 日(木)に開催し、通訳派遣で生じるさまざまなアクシデントやトラブルの過去の記録を振り返り、今後の防止策やコーディネーターブースでの適切な処理方法について話し合った。

〔参加者数〕4 人（コーディネーター3 人、事務局1 人）

ウ．運営協議会の設置・参加

運営協議会を 6 月 22 日(火)、8 月 10 日(火)、1 月 26 日(水)に開催し、部会を 6 月 22 日(火)、1 月 26 日(水)に開催した。3 月 15 日(火)の運営協議会については、東日本大震災の影響を受け中止、書面決裁となった。事業の円滑な運営およびシステムの充実・強化にむけて検討した。

前年度事業監査：監査役横浜市　5 月 25 日（火）神奈川県担当者の立会いの下実施した。

エ．関係機関との連絡調整

協働の相手である県国際課と 4 月 9 日(木)、4 月 27 日(火)、5 月 11 日(火)、6 月 10 日(木)、7 月 22 日(木)、12 月 10 日(金)、3 月 7 日(月)に連絡調整会議およびワーキンググループ会議を開催した。

オ．　新システム構築に向けての関係医療機関 訪問・説明会

8 月 23 日(月)	病院訪問	横浜市立大学附属病院	早川副理事長
8 月 23 日(月)	病院訪問	神奈川県立精神医療センター	早川副理事長
8 月 31 日(火)	病院訪問	聖マリアンナ横浜市西部病院	鶴田理事長
9 月 3 日(金)	病院訪問	大和徳洲会病院	早川副理事長
9 月 7 日(火)	病院訪問	横須賀うわまち病院	早川副理事長

9月8日(水)　病院訪問　小田原市立病院　鶴田理事長
9月8日(水)　病院訪問　日本医科大学武蔵小杉病院　松野副理事長
9月9日(木)　病院訪問　綾瀬厚生病院　鶴田理事長
9月13日(月)　病院訪問　平塚市民病院　鶴田理事長
9月14日(火)　病院訪問　川崎市立多摩病院　鶴田理事長
9月17日(金)　病院訪問　昭和大学横浜市北部病院　早川副理事長
9月21日（金）　病院訪問　湘南鎌倉総合病院　鶴田理事長
9月27日(月)　病院訪問　相模原協同病院　松野副理事長
9月29日(水)　病院訪問　川崎協同病院　松野副理事長
10月8日(金)　病院訪問　秦野赤十字病院　松野副理事長
10月21日(木)　病院訪問　県立こども医療センター　鶴田理事長
11月11日(木)　病院訪問　東海大学病院　鶴田理事長
2011年
2月8日(火)　医療通訳派遣システム事業　新規加入医療機関向け説明会

＜内容２＞ MICかながわ医療通訳派遣事業

[日時]2010年4月1日～2011年3月31日　[場所]神奈川県内　[従業員人員]220人
[対象者]　＜内容１＞の事業で対応しない協定医療機関 39病院

ア.　医療通訳スタッフの派遣

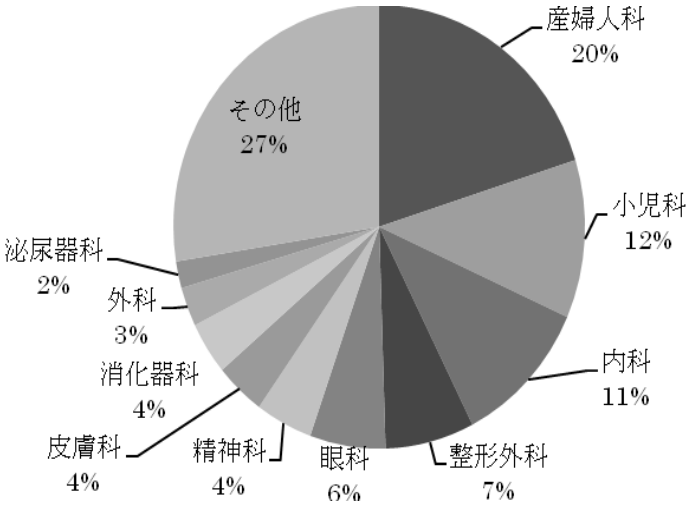
県医療通訳派遣システム事業以外の医療機関を対象に、医療通訳受け入れにあたっての説明をした上、覚書を取り交わした後、医療通訳スタッフの派遣を行った。

病院・言語別実績　【単位:件】

言語 / 医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	合計
県立汐見台病院	横浜市磯子区	25	74	0	0	0	5	37	0	0	0	141
県立がんセンター	横浜市旭区	8	41	14	0	0	1	0	0	0	0	64
県立精神医療センター	横浜市港南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際親善総合病院	横浜市泉区	49	5	0	0	0	0	4	1	0	0	59
横浜医療センター	横浜市戸塚区	1	2	0	0	0	0	0	4	0	0	7
昭和大学藤が丘病院	横浜市青葉区	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
昭和大学横浜市北部病院	横浜市都筑区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
横浜市立大学附属病院	横浜市金沢区	81	58	2	0	11	13	0	3	0	0	168
済生会横浜市南部病院	横浜市港南区	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
横浜南共済病院	横浜市金沢区	4	117	11	0	0	0	9	0	0	0	141

言語 医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	合計
聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院	横浜市旭区	1	2	0	0	0	0	0	0	3	0	6
横浜労災病院	横浜市港北区	0	3	2	0	3	0	0	0	0	0	8
港町診療所	横浜市神奈川区	19	57	0	0	0	1	0	0	0	0	77
横浜市立みなと赤十字病院	横浜市中区	10	0	0	8	0	0	18	0	0	0	36
江田記念病院	横浜市青葉区	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
横浜市立脳血管センター	横浜市磯子区	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
横浜逓信病院	横浜市神奈川区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東戸塚記念病院	横浜市戸塚区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
菊名記念病院	横浜市港北区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
東海大学大磯病院	中郡大磯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮川病院	川崎市川崎区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平塚市民病院	平塚市	44	250	31	0	4	4	18	0	0	0	351
県立総合療育相談ｾﾝﾀｰ	藤沢市	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
湯河原中央温泉病院	足柄下郡湯河原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川崎幸病院	川崎市幸区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
東名厚木病院	厚木市	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
とうめい厚木クリニック	厚木市	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
大和徳洲会病院	大和市	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
川崎市立井田病院	川崎市中原区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院	厚木市	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14
秦野赤十字病院	秦野市	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
久里浜ｱﾙｺｰﾙ症ｾﾝﾀｰ	横須賀市	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
伊勢原協同病院	伊勢原市	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
済生会平塚病院	平塚市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎市中原区	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
大和成和病院	大和市	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
七沢リハビリテーション病院	厚木市	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
曽我病院	小田原市	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
聖マリアンナ医科大学 東横病院	川崎市中原区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合　計		281	654	69	11	18	24	86	9	3	0	1155

【診療科別実績】



＜内容３＞　感染症通訳派遣（外国籍県民エイズ通訳等委託事業等）

[日時]2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日　　[場所]神奈川県内　　[従業員人員]20 人

[対象者]保健所の感染症担当保健師およびその担当患者等

神奈川県保健福祉部健康増進課からの委託内容に基づき、大和・厚木等の保健所からの感染症に関わる通訳依頼（エイズ・結核等）に対して、感染症に関する研修を修了している医療通訳スタッフを派遣した。派遣実績　2件

なお、県委託事業対応範囲外(横浜・川崎等)からの依頼についても、県委託事業に準じる内容で医療通訳スタッフを派遣した。　派遣実績 7件

③ 災害時・緊急時および一般通訳等に関する活動

【③事業合計支出額】 1,091,809 円

＜内容１＞　一般通訳派遣事業

[日時]2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日　　[場所]神奈川県内　　[従業員人員]170 人

[対象者]日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関

ア.「かながわ一般通訳支援事業」を神奈川県国際課から受託、通訳協力者の登録および派遣コーディネートを行った。

登録言語数　　16言語

登録通訳者数　　実人数　141 人　（複数言語登録者数は延べ 177 人）

派遣実績　　125 件

主な派遣先　　県立高校・児童相談所・女性相談所・役所　等

イ．一般通訳協力者研修

11 月 17 日（水）14:00～16:00　　かながわ県民活動サポートセンター

テーマ：『生活保護の理念と実際の運用　～生活保護の相談のシミュレーション～』

講師：寿支援者交流会　事務局長　高沢 幸男 氏

〔参加者数〕40 人

＜内容２＞ その他、講師派遣・会議参加等

ア．神奈川県消防学校外国語講座　講師派遣

派遣講師打合せ　4 月 19 日(月)

【第１回】5 月 17 日(月)

派遣者：三木中国語通訳、城間スペイン語通訳、ヒューバート会員（英語）

【第２回】1 月 17 日(月)

派遣者：三木中国語通訳、城間スペイン語通訳、ヒューバート会員（英語）

④ 日本語を母語としない住民のための健康相談による地域の健康促進活動

［日時］2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日　　［場所］神奈川県内　　［従業員人員］65 人

［対象者］日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関

【④事業合計支出額】　440,320 円

＜内容１＞外国人無料健康相談会

港町診療所、神奈川県等の主催による健康相談会に、広報、通訳派遣等の協力を行った。

日　時	会　場	会場所在	受診者数
5 月 16 日(日)	カトリック貝塚教会	川崎市川崎区	64 人
7 月 4 日(日)	いちょうコミュニティハウス	横浜市泉区	67 人
9 月 26 日(日)	大和カトリック教会	大和市	56 人
10 月 17 日(日)	横濱華僑キリスト教会	横浜市中区	81 人
11 月 7 日(日)	藤沢カトリック教会	藤沢市	28 人
2011 年 2 月 6 日(日)	鶴見福祉保健センター	横浜市鶴見区	285 人

2011 年 3 月 27 日(日)に川崎市立富士見中学校(川崎市川崎区)で予定されていた健康相談会は、東日本大震災の影響を受け中止となった。

＜内容２＞横浜市中区乳幼児健康診査

2010 年 4 月より 2011 年 3 月まで、横浜市中区保健福祉センターからの委託を受け、同センターの乳幼児健診(4 か月、1歳6 か月、3歳)に中国語の医療通訳スタッフを派遣した。

中区在住中国人の乳幼児健診受診率を上げるための取り組みとして始まった。

7 月 20 日(火)　松延事務局 長　中区保健福祉センターにて業務内容を視察。

〔派遣回数〕　72回

＜内容３＞その他の通訳派遣

10 月 23 日(土)　港町診療所 外国人女性健診（タガログ語、タイ語）

⑤ 日本語を母語としない方や外国籍住民がスムーズに医療につながることができるための医療制度の研究・提言及び人権に関する啓発事業

［日時］2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日　　［場所］日本全国　　［従業員人員］60 人

［対象者］医療通訳派遣制度及び医療通訳の養成に関心のある全国の行政職員・医療関係者・通訳ボランティア等

【⑤事業合計支出額】　5,446,019 円

＜内容１＞ 医療通訳派遣システム事業　多文化共生社会推進事業

『かながわ医療通訳啓発セミナー2011』

日時・会場：1 月 8 日（土）13：00～17：00　かながわ県民センター　ホール

テーマ：公的な医療通訳派遣の意義を考える

内　容: 第 1 部　「神奈川県の医療通訳派遣システムの実績報告と問題点」

報告者：高橋元央 氏（MIC かながわプログラムアドバイザー）

第 2 部　「神奈川県の医療通訳派遣システムの今後について」

＝パネルディスカッション＝

ファシリテーター：沢田貴志 氏（MIC かながわ理事、医師）

パネリスト：佐野晴美 氏（社会保険横浜中央病院ソーシャルワーカー）、三浦知人 氏（川崎市ふれあい館館長）、佐藤ペティー 氏（MIC かながわ中国語通訳）、岩本弥生 氏（MIC かながわポルトガル語通訳、コーディネーター）、鶴田光子 氏（MIC かながわ理事長、ソーシャルワーカー）

第 3 部　共通基準制作の経緯と基準の内容説明

報告者：西村明夫 氏（MIC かながわプログラムアドバイザー）

〔参加者数〕134 人

＜内容２＞その他の医療通訳啓発事業

ア．公開講座

医療通訳のノウハウを広く一般の方に知っていただくために、公開講座を実施した。

（ア）英語医療通訳講座

	講義回数	開催時期	受講者数
医療通訳 上級 講座 午後コース	（全10回）	4月12日～6月21日	8人
医療通訳 基礎 講座 午後コース	（全10回）	4月13日～6月22日	6人
医療通訳 中級 講座 夜間コース	（全10回）	4月13日～6月22日	10人
医療通訳 基礎 講座 夜間コース	（全10回）	4月15日～6月24日	5人
医療通訳 中級 講座 午後コース	（全10回）	4月15日～6月24日	5人
医療通訳 体験 講座	（全1回）	7月5日	6人
医療通訳 体験 講座	（全1回）	7月13日	9人
医療通訳 体験 講座	（全1回）	7月22日	17人
医療通訳 基礎 講座 午後コース	（全10回）	9月6日～11月22日	6人
医療通訳 上級 講座 夜間コース	（全10回）	9月7日～11月9日	7人
医療通訳 基礎 講座 午後コース	（全10回）	9月9日～11月18日	8人
医療通訳 中級 講座 夜間コース	（全10回）	9月9日～11月18日	5人
医療通訳 中級 講座 午後コース	（全10回）	1月13日～3月17日	8人
医療通訳 上級 講座 夜間コース	（全10回）	1月13日～3月17日	6人
医療通訳 基礎 講座 午後コース	（全10回）	1月18日～3月29日	10人
医療通訳 基礎 講座 夜間コース	（全10回）	1月18日～3月29日	10人

（イ）スペイン語医療通訳講座

	講義回数	開催時期	受講者数
医療通訳 基礎 講座	（全8回）	4月9日～6月4日	6人
医療通訳 中級 講座	（全8回）	4月1日～5月27日	8人
医療通訳 上級 講座	（全8回）	6月3日～7月22日	5人
医療通訳 体験 講座	（全1回）	7月29日	14人
医療通訳 基礎 講座	（全8回）	8月26日～10月21日	5人
医療通訳 中級 講座	（全8回）	10月28日～12月16日	8人
医療通訳 上級 講座	（全8回）	1月13日～3月3日	7人
医療通訳 基礎 講座	（全8回）	1月21日～3月25日	8人

イ． 講師派遣等

（ア）講師派遣

- 6月21日(月)
  29日(火)
  東京都福祉保健局生活福祉部「自立支援通訳員等医療通訳研修会」
  講師派遣：古山理事、松延事務局長
- 7月5日(月)
  東京外国語大学「多言語・多文化社会論（言語技能入門Ⅰ）医療現場での通訳実践（1)」
  講師派遣：松延事務局長
- 7月8日(木)
  岐阜県国際交流センター　医療通訳セミナーシナリオ検討委員会　委員派遣：沢田理事

- 9月4日(土)
  18日(土)　栃木県国際交流協会　医療通訳セミナー　入門編1・2　講師派遣：森田英語通訳
- 10月17(日)　岐阜県国際交流センター　医療通訳セミナー　講師派遣：坪上ポルトガル語通訳
- 10月21日(木)　佐賀県国際交流協会　医療通訳サポーター研修　講師派遣：坪上ポルトガル語通訳
- 10月24日(日)　岐阜県国際交流センター　医療通訳セミナー
  31日(日)　講師派遣：岐阜県国際交流ポルトガル語通訳、王中国語通訳、佐藤中国語通訳
- 10月30日(土)　つくば市国際交流協会　医療通訳養成講座　講師派遣：森田英語通訳
- 10月30日(土)　栃木県国際交流協会　医療通訳セミナー　実践編1・2
  11月6日(土)　講師派遣：アビー英語通訳
- 11月6日(土)　長野県国際交流推進協会　於:長野　講師派遣：佐藤中国語通訳
- 11月9日(火)　中国帰国者支援交流センター（九州センター）九州・沖縄圏一帯の自立支援通訳員研修
  講師派遣：三木中国語通訳
- 11月11日(木)　中国帰国者支援交流センター（首都圏センター）首都圏一帯の自立支援通訳員研修
  講師派遣：三木中国語通訳、王中国語通訳、佐藤中国語通訳
- 11月14日(日)　つくば市国際交流協会　医療通訳養成講座　講師派遣：森田英語通訳
- 11月20日(土)　長野県国際交流推進協会　於:松本　講師派遣：佐藤中国語通訳
- 11月27日(土)　長野県国際交流推進協会　於:伊那　講師派遣：坪上ポルトガル語通訳
- 11月27日(土)　東京都国際交流委員会「コミュニティ通訳研修」講師派遣：岩本ポルトガル語通訳
- 12月2日(木)　群馬県メディカルインタープリター養成講座①　講師派遣：佐藤中国語通訳
- 12月9日(木)　群馬県メディカルインタープリター養成講座②　講師派遣：森田英語通訳
- 12月16日(木)　群馬県メディカルインタープリター養成講座③　講師派遣：アビー英語通訳
- 1月19日(水)　埼玉県国際交流協会　通訳ボランティア入門講座　講師派遣：森田英語通訳
- 1月22日(土)　日立国際交流協議会「コミュニティ通訳養成講座」講師派遣：岩本ポルトガル語通訳
- 1月30日(日)　山梨県国際交流協会「医療通訳ボランティアセミナー」講師派遣：アビー英語通訳
- 2月19日(土)　日立国際交流協議会「コミュニティ通訳養成講座」講師派遣：岩元英語通訳
- 2月21日(月)
  28日(月)　かわさきくコミュニケーションボランティア通訳ボランティア研修
  講師派遣：岩本ポルトガル語通訳
- 2月26日(土)　徳島県国際交流協会　コミュニティ通訳研修　講師派遣：岩本ポルトガル語通訳
- 3月5日(土)　茨城県国際交流協会・神栖　医療通訳養成講座　講師派遣：森田英語通訳
- 3月6日(日)　飯田国際交流推進協会　医療通訳講座　講師派遣：三木中国語通訳
- 3月13日(日)　八王子市国際協会　医療通訳ボランティア入門講座　講師派遣：アビー英語通訳
- 3月31日(木)　山口ハート国際クリニック（浜松市）医療通訳講座　於：横浜
  講師派遣：坪上ポルトガル語通訳、三木中国語通訳、城間スペイン語通訳

（イ）その他、役員・事務局職員・通訳等が個人活動として下記の内容でMICかながわの活動および医療通訳に関して講義を行った。

- 5月29日(土)　武蔵野市国際交流協会「青年のための国際理解フォーラム2010」分科会
  「緊急医療通訳」講師　西村PA

・ 10月6日(水)　東邦大学医学部「医療通訳」講師　鶴田理事長
・ 10月30日(土)　愛知県立大学　医療分野スペイン語ポルトガル語公開シンポジウム
「来日・定住外国人へのコミュニケーション支援」パネリスト　西村PA
・ 12月6日(月)　立教大学「異文化コミュニケーション論」講師　森田英語通訳
・ 3月28日(月)　韓国ハンリム大学「日韓の医療通訳教育についてのシンポジウム」
講師　森田PA

ウ．タイ語医療通訳講座

全国のタイ人支援ボランティアを対象に、6月26日(土)・27日(日)にわたって、川崎生涯研修センターにて宿泊研修を行った。タイ王国大使館後援、TNJ (Thai Network in Japan) 協力の下、企業等（財団法人日本タイ協会、三井石油開発㈱、新日鉄エンジニアリング㈱、J-Power Generation (Thailand) Co.,Ltd.）より合計100万円の協賛寄付を得て実施。MIC かながわの医療通訳スタッフ新任養成研修とほぼ同等の内容にタイ人に特化した講義を加え、2日間に凝縮して研修を行った。受講者25人、関係者（講師、スタッフ）17人。

⑥ 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談活動

［日時］2010年4月1日～2011年3月31日　［場所］神奈川県内　［従業員人員］10人
［対象者］外国籍県民、保健福祉センター職員・医療機関職員等
【⑥事業合計支出額】　0円

＜内容１＞ MICかながわ事務局において、医療通訳派遣などから派生する日本語を母語としない住民の生活に密着したさまざまな相談に対応した。

ＭＩＣかながわ事務局における相談対応　132件

＜内容２＞ 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談対応に必要な研修等の広報に協力し、参加した。

ア．「外国籍県民相談員研修会」（主催：神奈川県県民部国際課）　広報協力および参加
・7月13日(火)「こども手当について」
・10月29日(火)「外国人のすまいについて」
・1月14日(金)「外国人の婚姻・国籍等について」

イ．災害時の外国人支援講座　（主催：神奈川県県民部国際課）広報協力および参加
・1月27日（木）「災害時の外国人支援ボランティアに求められる役割」

⑦ 日本語を母語としない住民の定住化に伴う課題への対応についての行政や地域で活動する団体への連絡、助言又は援助の活動

［日時］2010年4月1日～2011年3月31日　［場所］神奈川県内　［従業員人員］40人

［対象者］法人の事業活動に理解のある団体および個人

【⑦事業合計支出額】10,660円

ア．会議・イベント等への参加

（ア）ＮＧＯかながわ国際協力会議　委員参加：小島理事　6月8日(火)、7月6日(火)、7月31日(土)、8月19日(木)、9月16日(水)

10月27日(水)に第6期最終報告書を神奈川県知事に提出

（イ）県NPO協働推進課「寄付税制に関するパネル討論会」

パネラー派遣：三浦事務局スタッフ　2011年1月29日(土)

（ウ）その他

・地域デビュー応援フェア 於：みなとみらい駅　11月27日(土)

参加：三浦総務部長、医療通訳スタッフ多数

・CSRシンポジウム ＆ NPO・社会起業見本市(メッセ)　12月16日(木)

参加：三浦総務部長、医療通訳スタッフ多数

イ．取材

・雑誌「医療タイムズ」　6月24日(木)　早川副理事長
・雑誌「医療タイムズ」　6月28日(月)　勝亦ベトナム語通訳、倉橋タガログ語通訳
・雑誌「医療タイムズ」　7月1日(木)　佐野コーディネーター、佐藤ペティー中国語通訳、西村PA、松延事務局長
・神奈川新聞　7月28日(水)　三浦総務部長
・NHK出版「きょうの健康」　10月5日(火)　三浦総務部長
・NHK出版「きょうの健康」　10月12日(火)　於：港町診療所　小島スペイン語通訳
・信濃毎日新聞　11月24日(水)　三浦総務部長
・保健／保健同人社『暮しと健康』　2月28日(月)　問屋スペイン語通訳
・西日本新聞社　3月2日(水)　森田PA
・共同通信社横浜支局　3月9日(水)　西村PA

ウ．調査協力・来訪・訪問等

・ 4月2日(金)　キャピタル・インターナショナル（株）訪問（寄附プレゼンテーション）森田英語通訳、松延事務局長
・ 5月28日(金)　横浜市経済観光局観光振興課　職員　来訪
・ 6月1日(火)　佐賀県国際交流協会　職員　来訪
・ 6月4日(金)　柏市国際交流室　職員　来訪

- 6月11日(金)　韓国「移住民人権連帯」職員　来訪
- 6月18日(金)　法政大学大学院　西村氏　インタビュー　松延事務局長
- 7月12日(月)　フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会　職員　来訪
- 8月4日(水)　福岡県医療指導課　聞き取り調査来訪
  協力：早川副理事長・三浦総務部長
- 8月17日(水)　多言語センターFACILインタビュー　協力：松延事務局長
- 8月31日(火)　宮崎大学大学院生インタビュー　協力：西村PA
- 9月13日(月)　横浜市立大学学生インタビュー　協力：三浦総務部長
- 10月6日(水)　KIFヒアリング調査協力「相談体制について　協力：松延事務局長
- 10月20日(水)　愛知県多文化共生推進室　ヒアリング調査協力
  「医療通訳制度構築について　協力：松延事務局長
- 2月10日(木)　山口県国際交流協会　職員来訪　協力：松延事務局長、森田PA等

⑧ 日本語を母語としない住民の生活支援につながる翻訳事業

[日時] 2010年4月1日～2011年3月31日　[場所]ＭＩＣかながわ事務局
[従業員人員]40人
[対象者] 法人の事業活動に理解のある団体および個人
【⑧事業合計支出額】　517,480円

2010年度も2009年度に引き続き新規の翻訳依頼は原則受付せず、業務を縮小して実施した。以下の機関・団体等からの依頼に基づき、理事会の検討を経て翻訳を行った。

・寿福祉プラザ	「ことぶき青少年広場」(タガログ語、中国語、英語)
・ソレイユ川崎	「いのちが育まれるとき」
江川文誠氏	(英語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、中国語)
・神奈川県医療福祉施設協同組合	外国人無料健康相談会時の相談対応に関する案内文
・MICかながわ	計画停電が実施される場合の通訳の対応

⑨ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

[日時]2010年4月1日～2011年3月31日　[場所]ＭＩＣかながわ事務局および県外
[従業員人員]20人
[対象者]法人の事業活動に関心のある団体および個人
【⑨事業合計支出額】　171,475円

＜内容１＞　医療通訳制度化の検討

ア.『第３回医療通訳を考える全国会議』　８月 21 日(土)　於：キャンパスプラザ京都
「全国実践者会議　～医療通訳者には何が必要か～」
共同開催：多文化共生センターきょうと・MIC かながわ
参加：森田英語通訳、佐藤ペティー中国語通訳、岩本ポルトガル語通訳、坪田会員、
三浦総務部長、西村PA、沢田理事、鶴田理事長

イ.　医療通訳共通基準検討協議会

『第３回医療通訳を考える全国会議』に向けて、医療通訳共通基準検討協議会を立ち上げた。多文化共生センターきょうとと skype を利用し『医療通訳共通基準』の作成にあたった。

５月 12 日(月)、６月７日(火)、７月６日(火)、９月５日(日)、９月 17 日(金)、10 月４日(月)に開催。

＜内容２＞　活動の目的に沿った事業

ア. 広報

（ア）ニュースレターの発行　郵送やＥmail で会員等にニュースレターを年間４回発行。

（イ）団体ロゴマーク・コンペティションを開催し、５月 22 日（土）総会後に最終投票を行い、新たに MIC かながわのロゴマークを決定した。

（ウ）有志による活動　ＭＩＣかながわのロゴマーク起用のＴシャツを作成、頒布した。

イ. その他

（ア）　多文化ソーシャルワーカー検討会議を 11 月１日(月)に開催し、外国籍県民会議や NGO会議の提言などを元に意見交換を行った。
早川副理事長、コーディネーター他7 人が参加

（2）その他の事業

特になし